



はたかむ 通信

(公社) シャンティ
国際ボランティア会
クラフトエイド

2013年8月号

皆さまいつもクラフト・エイドを温かく支えてくださりありがとうございます。クラフト・エイドは様々な国で苦難の中にいる人々と共に 1985 年から女性たちの経済的自立を支える活動を続けています。わたしたちは、これから3点にクローズアップして私たちの活動を日本の皆さんにお伝えしたいと思います。①生活スタイルに合ったアイテムを紹介。②より深い現地の生産者の様子と素晴らしい刺繍や織りの紹介。③残していかなければならない伝統文化の継承。これからも応援よろしくをお願いします。

生産者団体「パンマイ」

『パンマイ』はクラフト・エイドのカタログでも紹介されている、タイ东北部にあるロイエット県で草木染めの手織物を生産する農村女性グループです。

今年の3月、パンマイの事務所と村を訪ねました。事務所から村までは車で30分。元気なお母さんたちが出迎えてくれました。素晴らしい布は、人の手でいくつもの工程を重ねて織られます。

布を織る行程

①糸と染料の準備（染料は村の中にある木の実や木の皮、自然素材を使います）②糸を染めて乾燥 ③緯糸（よこいと）準備 ④経糸（たていと）整経 ⑤織り機にセッティング ⑥織る

緯糸を等間隔に外しながら均等に織る透かし織りや、何色もの糸を組み合わせで出来る絶妙な色合いの布。また手紡ぎの綿を使うとざっくりとした味わいのある布になります。パンマイでは様々な表情をもつ布を織ることができます。

タイの東北地方

タイで東北地方はもっとも貧しいと言われている地域です。5月～10月までの雨期では洪水の被害があったり、それ以外の時期はカラカラに乾いた乾季になります。もち米を主食としていますが、家族が食べ

る程度の量なので米を販売して現金収入を得ることはできていません。ですから東北地方の多くの女性たちは家族を離れて都市部に出稼ぎに出かけていきます。仕事と言っても日雇で物を売ったり、清掃や工事現場での仕事になります。住居も不法に移り住んだ場所で次第に巨大なスラム街となっていきます。

生産者の声

●カムボンボウラさん 30歳

夫と2人の息子の4人家族。月給は日本円で12,000～15,000円。学校が遠くて歩いていけないので、幼稚園の子も小学校の子も毎日車代がかかります。子どもたちの教育費がかかるので、自分の給料では足りていません。（上写真の右側）

●ワッサナーさん 37歳

農閑期は、1日8時間ほど仕事をします。農村で働いていてもお金を稼げないので、以前はバンコクの縫製工場で働いていました。パンマイの活動が始まって家族に呼ばれて戻ってきました。今は村で子どもたちと一緒に暮らせることが嬉しいです。

子どもたちや若い世代は村を離れて仕事を見つけないに行きます。染めや織りの伝承ということが課題になっています。しかし、家族の元で自分の織りあげた作品が現金収入へつながらんということが実感できるのであれば、女性たちは東北タイの誇りとなっていくでしょう。



自然の染料で染めた絹糸は美しいです



右からスタッフのブンさん、ウォンさん、マリさん



ワッサナーさん

パンマイ
おすすめのアイテム

ふんわりコットンショール

マシュマロピンクとカフェオレ。ストライプ模様に見える白い部分は透かし織りです！結ぶときにはこの透かしの部分をキュッと縮んで、首回りでもかさばりません。優しくかわいいけれど甘すぎないマシュマロピンク、秋の気分になれそうなカフェオレの2色です。



窓辺にかけてあっても透け感があるので調度いい感じですよ。



前に垂らすとこんな長さです。コサージュを付けても。



まだまだ暑い日はバッグに結んでアクセントに。冷房や急な冷え込みに重宝します



福岡県在住の里見照子さん

私の好きなクラフト・エイド

毎日の生活に欠かさず、潤いを与えてくれるクラフトは手仕事なので温かく、見て触れて心が安らぎます。

じっと眺めていると刺している女性たちのおしゃべりや情景が浮かび、幸せな心地になるのは手仕事のチカラかもしれないです。

右手の『ラオスの森ポーチ』は動植物の色使いも楽しいです。浅めでほど良い長さを使いやすいです。左手の『モン族大きな刺繍パース』は同じパターン模様ですが、色合いを変えることで個性が出てきます。化粧ポーチとして、また ATM に行く時に通帳やカード入れとして、大き目で安心感があって重宝しています。

小ぶりの『シビライ村の財布』は、かぎ型のファスナーで、中に小袋があり、とても使い勝手が良く、多様な柄も嬉しいです。

私が品を手にする時、作り手に思いを馳せるように、彼女たちもどんな人が買ってくれて、この中に何を入れるのかしらと想いながら刺しているなら「こんな風に使っているのよ。」と伝えたいです。日々の、そして生涯の伴侶に感謝です。

Topics 入荷しました！！

フロントギャザーチュニック



長らくお待たせして
申し訳ありません。

ご注文をお待ちして
おります。

スタッフからのつぶやき

スタッフの利根川です。7月末からタイとラオスの生産者の皆さんに会ってきます。日頃は、Eメール、FAX、電話を駆使して、現地の生産者の方と連絡を取っているのですが、会ってみたいと確認できないことが沢山あります。現地の方たちの生産の状況、クラフト・エイドからの発注が生産者の生活向上に役立っているか、しっかり見てきます。戻ってきましたら、皆さんに報告しますので、お楽しみに！



利根川です



公益社団法人

シャンティ国際ボランティア会

クラフト・エイド 〒160-0015 東京都新宿区大京町 31 慈母会館 2・3F

TEL.03-3350-1981 / <http://craftaid.jp/>